

メルマガ「とちぎ国際通信」

2026 年夏号(第 46 号)

■新任 CIR 2 名の着任挨拶

今年度より、国際交流員としてアメリカからニコラス・ライアンさんと中国から邱 奕妍（キュウ エキケン）さんが赴任しました。これから翻訳・通訳・国際交流の分野などで活躍してくださいます。

【邱 奕妍さんの挨拶】

栃木県の皆様、はじめまして！ニーハオ！

国際交流員のキュウと申します。2026 年 4 月に中国の江西省から参りました。江西省は、栃木県の友好提携先である浙江省の隣に位置しており、景德鎮の陶磁器やネーブルオレンジの名産地として知られています。

大学での日本語学習をきっかけに、これまで愛知県と石川県を訪れる機会に恵まれました。各地で文化交流イベントに参加し、地域の方々と触れ合う中で、異文化交流の楽しさを実感しました。日本語を学んだことで自分の世界が広がり、「いつか日本で生活し、働きたい」と強く願うようになりました。私は言語教育に深い関心を持っており、アメリカと中国浙江省の大学で中国語教育と国際交流の仕事に携わっていたほか、日本人の方を対象に、ビジネス中国語の指導を行ったこともあります。

趣味はバドミントンとカラオケで、中国料理を作ることも得意です。栃木県とのご縁を大切に、地域の魅力をたくさん学びながら、一人でも多くの県民の皆様とお会いできることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

【ニコラス・ライアンさんの挨拶】

栃木県の皆様、はじめまして！ニコラス・ライアン(Nicholas Ryan)と申します。

2026 年 4 月から国際交流員として勤めています。私はアメリカの西側にあるアリゾナ州から来ました。出身地は州の中央にあるスコッツデール(Scottsdale)という町です。私の住んでいる地域は砂漠地帯で、サボテンをはじめとした多くの動植物が見られます。コヨーテや蛇を、ほぼ毎日のように見かけます。

私はテキサス州にあるサザンメソジスト大学で日本語の勉強を始めました。大学時代に出会った先生から大きな影響を受け、卒業後も日本語能力試験の合格を目指して日本語の勉強を続けることを決意しました。また、大学在学中に東京へ留学する機会もありました。その経験を通して、日本への興味がより深まりました。

趣味はランニング、植物を育てること、郷土料理を味わうこと、日本語と英語の言語交換などです。得意料理はハンバーガーです。

大学時代に先生に助けていただいたように、私も栃木県の皆さまのお役に立ち、交流を深めながら理解し合える関係づくりに貢献したいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします！



■JICA 海外協力隊による知事表敬

7月25日に2025年度3次隊として任国に派遣予定の海外協力隊員1名、2023年度3次隊として任国に派遣された海外協力隊員2名及び2024年度1次隊として任国に派遣された海外協力隊員1名（欠席）が、4月10日（金曜日）に知事を表敬訪問しました。

海外協力隊員の皆様からは、任国における活動内容や帰国後の抱負についてお話しいただきました。派遣隊員におかれましては、健康に留意しながら、任務の遂行に向けて励んでいただくとともに、帰国隊員の皆様におかれましては、県内地域をはじめ様々な分野において、任国での経験を活かしていただくことを期待しています！



▲表敬の様子



▲記念撮影

■ウズベキスタン人材ポテンシャルビジネスフォーラム 2026、駐日ウズベキスタン大使知事表敬

5月29日にウズベキスタン人材ポテンシャルビジネスフォーラム 2026 が開催されました。このセミナーは、駐日ウズベキスタン大使館から県内企業等を対象としたウズベキスタン人材に関するセミナーの開催の話があったもので、本県主催の「とちぎ外国人材活用促進協議会総会」と同日に開催されまし

た。

セミナーでは、谷田部産業労働観光部長による挨拶、ウズベキスタン側挨拶（フェルガナ州知事、外務副大臣、駐日大使）、ウズベキスタン政府移民庁によるプレゼンテーション、（一社）日本アジア青年交流協会によるプレゼンテーション、駐日ウズベキスタン大使館によるプレゼンテーション、フェルガナ州副知事によるプレゼンテーション、（株）オノデラユーザーランによるプレゼンテーションが行われました。

セミナー後には、知事表敬が行われ、知事挨拶では、ウズベキスタンの人材について大使館から直接お話を伺えることは本県の企業にとって人材確保を考える上で大変意義深い機会であると述べました。一方で、大使からは、面会への感謝の言葉や、大使の出身であるフェルガナ州と栃木県の繋がりができることへの願いが述べられました。



▲セミナーの様子（部長挨拶）



▲記念撮影（知事表敬）

■宇都宮大学「地域と世界を結ぶ『グローバル』実践」での登壇

6月17日に宇都宮大学で、地域と世界の架け橋となる人材を育成することを目的とした国際共修科目「地域と世界を結ぶ『グローバル』実践」にて国際経済課の取組について説明をするとともに、国際交

流員2名が地域外国人としてトークセッションに登壇しました。トークセッションは国際交流員の活動紹介や異文化交流をテーマに行われ、質疑応答は中国の食文化、国際交流員になるために今準備しておいた方がいいこと、試験の内容等が聞かれ、活発な交流が行われました。



▲講義の様子（邱 国際交流員）



▲講義の様子（ライアン 国際交流員）

■駐日フランス大使知事表敬

6月23日にベアトリス・ル・フラペール・デュ・エレン特命全権大使による知事表敬が行われました。知事挨拶では、大使が2026年4月28日に女性初の駐日フランス特命全権大使に就任したことへの御祝いの言葉や、1989年以来続いているフランス・ヴォークリューズ県との交流について述べました。大使からは、日仏交流は長い歴史があり現代に合ったものへ変えていきたいこと、個人的に学生交流に関心があることが述べられました。また、記念品の交換では、大使からはワインが、知事からは本県の伝統工芸品である野州てんまりが贈られました。



▲記念品交換の様子

■ベトナム地方政府研修訪問団

7月2日、3日にベトナム地方政府研修訪問団が研修プログラムの一環で本県を訪れました。2日は宇都宮市を訪問してDX講義の受講やLRT視察を行い、3日は栃木県を訪問して赤岩副知事表敬、財政課長と人事課長による本県の財政・人事制度に係る講義の受講を行った後、真岡製作所において工場見学と技能実習生との意見交換を行いました。

副知事挨拶では、本県には国籍別で最も多い11,922人のベトナム人の方々が居住していること、宇都宮大学をはじめとする大学等がベトナムの大学等と提携して学生交流等を行っていること、昨年12月には、今年3月にはハノイ工科大学とベトナムの高度外国人材の受入促進に係る覚書を締結したこと等が述べられました。

また、真岡製作所の訪問では、訪問団が実際に工場内でベトナム人従業員が作業している様子を見学するとともに、意見交換ではベトナム人従業員が訪問団に日本での生活や工場の勤務の様子について説明をするなどの交流が行われました。



▲真岡製作所での記念撮影